

# 営農情報 第3号

平成27年4月24日  
アルプス農協管内農業技術者協議会

## コシヒカリの田植えは、5月15日を中心に（中山間地は除く） ～適正な田植作業と水管理で、初期分けつの発生を促しましょう！～

### 1 田植作業

- 分けつがとれにくいほ場では、茎数を確保するため、**植付株数を70株/坪**としましょう。
- 植付本数は3～4本/株**となるように田植機を調整しましょう。また、田植前に植付爪の状態をチェックし、磨耗している場合は交換しましょう。
- 植付深さが深いと初期分けつの発生が遅れ、茎数不足につながります。  
**植付深さは3cm**になるように田植機を調整しましょう。
- 基肥は土壌区分に応じて基準量を確実に入れましょう。（営農情報第2号参照）  
なお、田植前に施肥ロールやブラシを点検・清掃するとともに、田植中も肥料が落ちているか随時確認しましょう。



### 2 田植後の水管理

- 田植後は、苗が水没しない程度に水深を保ち、活着を早めましょう。
- 苗の活着後は、**水深2～3cmの浅水管理**で田水温を高め、初期分けつの発生を促しましょう。なお、入水は早朝又は夕方の短時間に行い、日中は止水しましょう。
- 低温時や強風時は深水管理とし、苗を保護しましょう。

### 3 除草剤の散布

- 代かきから田植えまでの日数は7日以内になるよう作業計画を立てましょう。
- 田植時に除草剤を散布する場合は、軟弱徒長苗の使用や極端な浅植を避け、田植終了後、速やかに入水してください。なお、植え穴の戻りが悪いほ場や、水もちの悪いほ場での使用は止めましょう。
- 除草剤ごとに散布時期や散布量が違うので注意しましょう。
- 雑草の発生状況を確認し、除草剤散布が遅れないようにしましょう。
- 田面が露出しないよう5cm程度の深水状態で散布し、**散布後5日間は湛水状態を保ちましょう。また、散布後7日間は落水しないでください。**
- 田面の均平や畦畔からの漏水防止に留意し、除草効果を持続させるようにしましょう。

#### 《除草剤散布例》

	田植当日		田植後日数													
	田植時	田植直後	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日
初期剤	メテオフロアブル 500ml/10a		メテオ1キロ粒剤 1kg/10a													
	※薬害軽減のため、必ず田植後3日以降に使用してください。		マーシエット 1キロ粒剤 1kg/10a													
一発処理剤	ビッグシュアエース 1キロ粒剤 1kg/10a（田植時～ノビエ2.0葉期まで）															
初中期一発剤	サラブレッドRXフロアブル 500ml/10a（田植直後～ノビエ2.0葉期まで）															
	プラスワンLジャンボ 500g/10a（ノビエ2.0葉期まで）															
	プラスワン1キロ粒剤51 1kg/10a（ノビエ2.0葉期まで）															
	アピロトップMX 1キロ粒剤 51 1kg/10a（ノビエ2.5葉期まで）															
アピロトップMX Lジャンボ 500g/10a（ノビエ2.5葉期まで）																

※上記除草剤散布例は、富山県農林水産部発行の平成27年度農作物病害虫・雑草防除指針に基づき作成しました。

**【お知らせ】** 消毒した種籾を無料廃棄処分いたします。4月13日(月)～5月10日(日)まで、下記の場所に廃棄BOXを設置しましたので、持ちこみ願います。なお、必ず袋に入れた状態でお願います。（立山営農センター・上市配送センター・滑川営農センター）

**春の農作業安全運動実施中！（4/1～5/31）**

次回の営農情報（中干し準備）は5月22日頃の発行予定です。

# 高品質で美味しい売れる「アルフス米」を目指して

田植時期の繰り下げに伴い、近年、穂数が不足する傾向にあります。

初期生育が確保できないと、穂数は少なくなり、その結果、1穂当たりの粒数が過剰になってしまい、気象変動の影響を受け、白未熟粒の発生等による品質低下につながります。

高品質な米を安定的に生産するため、適正な栽植密度や植付本数など、田植えの精度向上で、初期茎数を確保し、穂数の確保に努めましょう。

## 1 栽植密度は、“70株/坪”が基本

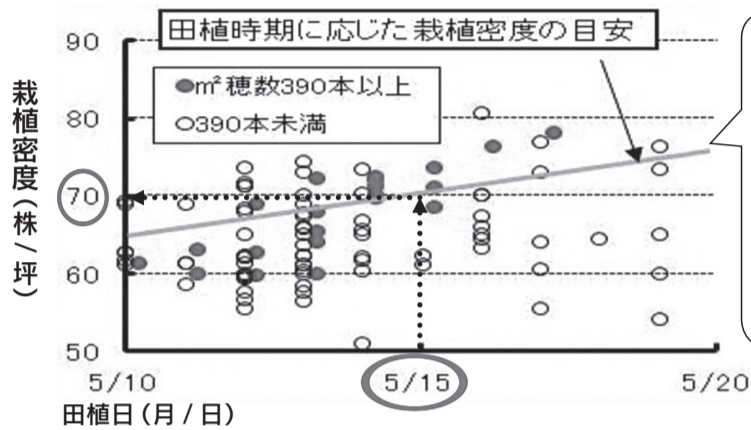


図1：田植時期と栽植密度の関係（コシヒカリ）

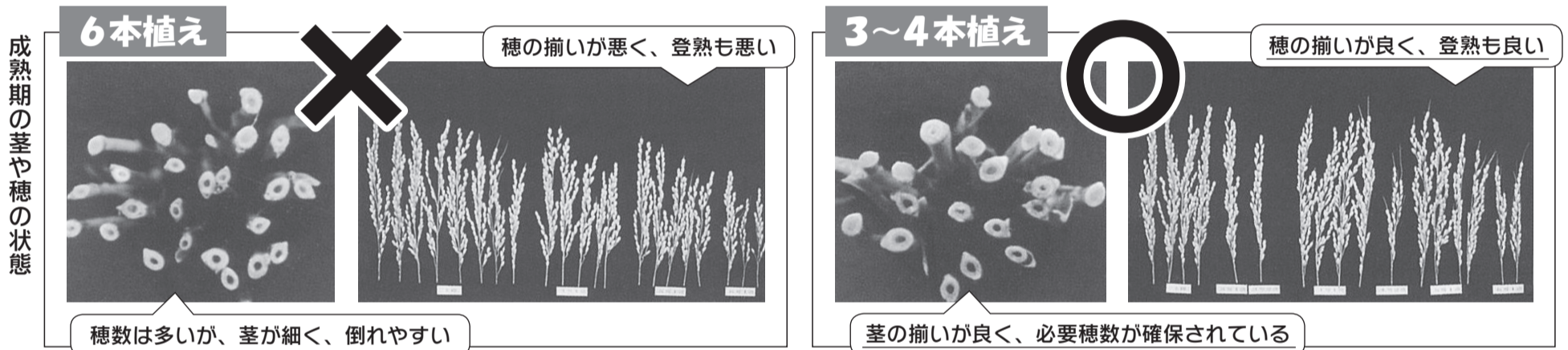
高品質な米を生産するための目標穂数の確保には、田植時期に応じた適正な栽植密度とすることが重要です。  
特に、5月中旬植えの場合の栽植密度は70株/坪(21.2株/m<sup>2</sup>)に合わせましょう。



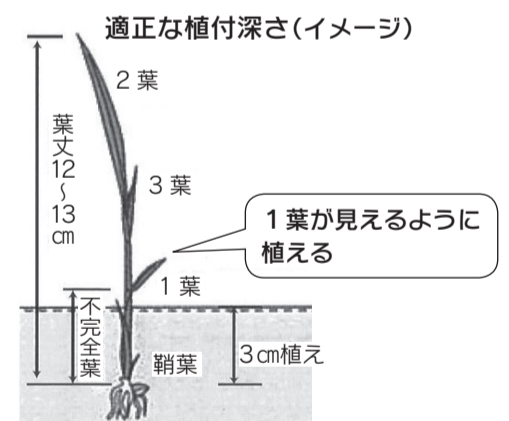
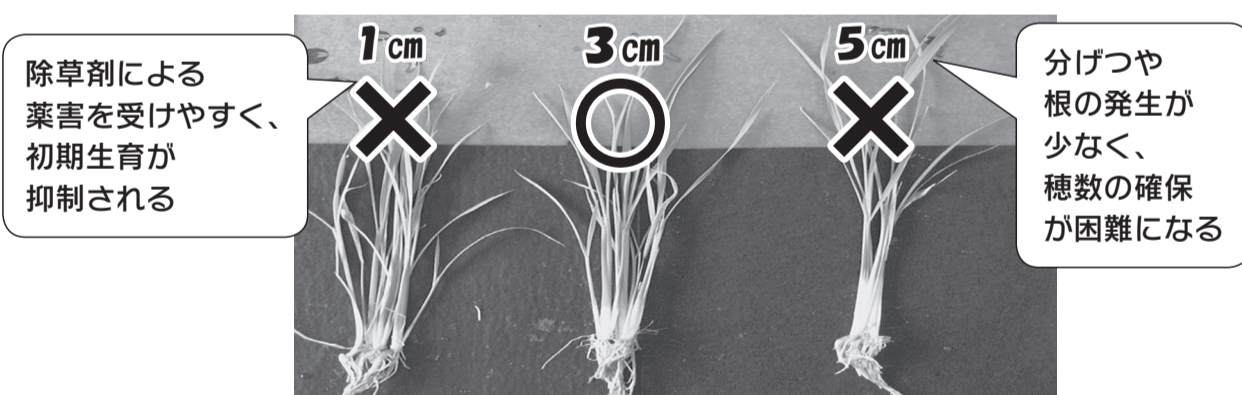
図2：田植機の株数変速部

株数変速が、適正な栽植密度に設定してあるか確認しましょう。

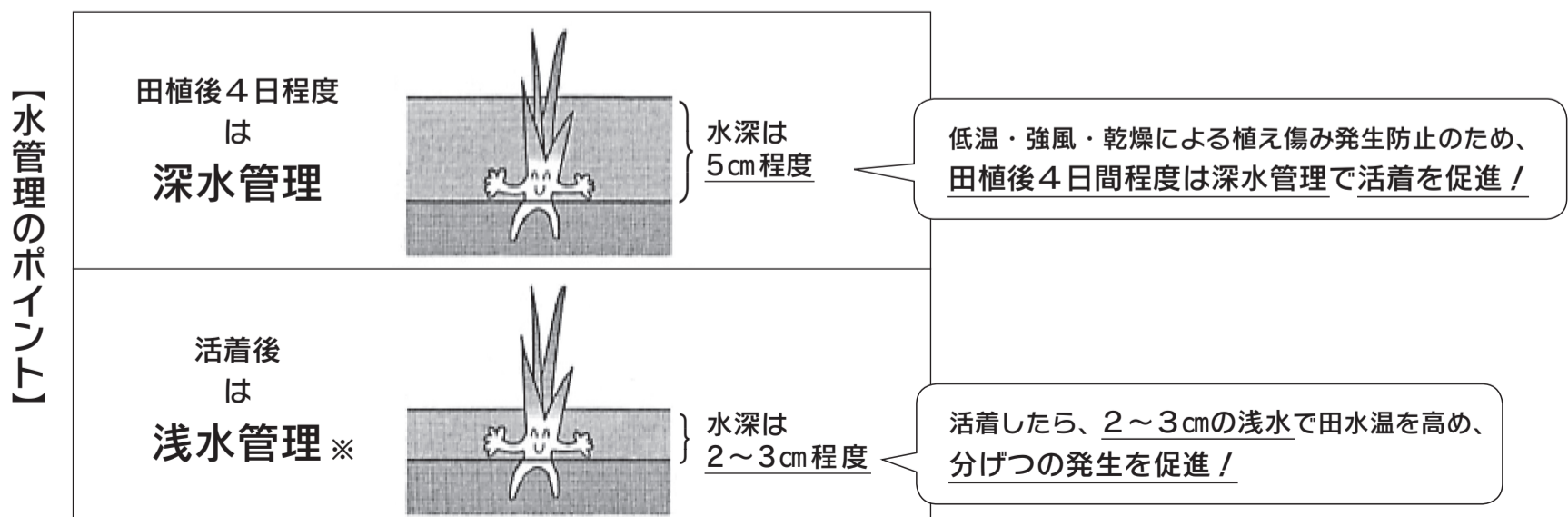
## 2 植付本数は、1株当たり“3～4本植え”が目安



## 3 植付深さは、“3cm”が最適



## 4 田植後の水管理は、はじめ“深水”、活着後は“浅水”



※浅水管理は中干し開始まで継続しますが、根の健全化のため、軽い田干しの適度な実施でガス抜きや酸素供給を促しましょう。